



# Rabijita Gogoi

ラヴィジタ・ゴゴイ

このワークショップでは、私がどの様に演劇を通してインドの現状での社会問題を加味してパフォーマンスを創るか、組み立てるか、パフォーマンス用のテキストを作成するか、パフォーマンスの中で物語層を作るか、という試みが展開されます。これらは実践的というよりはやや理論的な話になると思いますので、実践的な部分として、演技エクササイズと説明を交えた実践的な内容や、現代のインド人俳優がどの様に役を作り込むかということも混じえたワークショップにしていきたいと思います。

ラヴィジタ・ゴゴイ

演出家、パフォーマンス・クリエイター(マルチメディア、パフォーマンス・アート、新テキスト付パフォーマンス)、シアター・アーツ・インストラクター、インド国立演劇学校、デザインと演出専攻、修士号取得(1997)。演出作品は『メモサヘブ・プリトヴィ』(脚本:ヒマンシュ・B・ジョシ、ニューデリー、2006年)、『テクニカラー・ドリームズ(英語、ナガ語、アオ語、セマ語)』(ナガランド、2008年)、インド系言語での演出作品に『Dhruvaswamini』(ニューデリー、1998年)や、ハロルド・ピンター『ダムウェイター(ヘンディー語)』(ニューデリー、1999年)での演出もある。また、翻訳、翻案に、J・M・シング『海へ騎り行く人々』(翻案)、マルグリット・デュラス『ラ・ミュージカ』(翻訳・翻案)パニシュワル・ナス・レニユの物語(翻訳)など。著作は『ニクハル・ラギニとアニヤ・ナタク(戯曲集)』がある。アジア・ミーツ・アジア2005、2006、2009(東京)に出演。【受賞歴】2006年 サンギート・ナタク・アカデミー、ウスタド・ビスミラ・カーン賞受賞者、演劇作品賞 2005年 アカ・アボンガ・コイェクション若手功績賞、演劇部門

## 世界の演劇人に出会う。



### 3/29シンポジウム「アジア演劇の抵抗と希望」

#### ●Hong SeungYi(俳優)

韓国・釜山。労働運動活動を経て、2000年より演劇活動を開始。2008年劇団Shiim設立。台湾やイスラエルの演出家の作品に多数出演。昨年より劇団DA・M公演に参加する。

#### ●大橋 宏(演出家)

劇団DA・M代表。近年は身体的な即興行為を発掘しながら独自の舞台創作を展開。1997年よりアジア現代演劇交流活動<アジア・ミーツ・アジア>を開始。アジア各地との共同創作を継続中。

#### ●村山和之(パキスタン、アフガニスタン文化研究)

中央大学兼任講師。90年代パキスタン留学、調査渡航にて演劇と交わり、カラーチー、ラホール劇団を訪問。パラレル・シアターに注目している。

#### ●花崎 攝(俳優、ファシリテーター)

演劇デザインギルド在籍。アジア・ミーツ・アジア継続参加。またフィリピンやインドネシアにて地方の環境教育、先住民族文化継承等地域の平和構築演劇プロジェクトを手がける。

【司会】佐々木治己 【通訳】岩崎雄大/金恵玲(キム・ヘリョン)



東京都新宿区高田馬場 3-38-3  
TEL:昼間(火~土曜):03-3360-6463 夜間(木~日曜):03-3368-0490



東京都新宿区西新宿 6-12-30 TEL:03-5909-3066  
東京メトロ丸ノ内線「西新宿」出口2より徒歩7分

【お申込・お問い合わせ】一般社団法人日本演出者協会(担当:佐々木)

氏名、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレス、申込内容を明記の上下記申込先へメール又はファックスにてお申し込み下さい。  
TEL:03-5909-3074 FAX:03-5909-3075 携帯:090-6510-5549 専用メールアドレス:sasaki.katsumi@gmail.com